

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-282	13-011	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Factors associated with radiographic lesions in early axial spondyloarthritis. Results from the DESIR cohort. 早期軸性脊椎関節炎の放射線学上の病変と関連する因子：DESIR コホート研究		
執筆者		
Blachier M, Canoui-Poitrine F, Dougados M, Lethuaut A, Fautrel B, Ferkal S, Le Corvoisier P, Farrenq V, Poulain C, Ghaleh B, Bastuji-Garin S,		
掲載誌		
Rheumatology (Oxford). 2013 Sep;52(9):1686-93. doi: 10.1093/rheumatology/ket207. Epub 2013 Jun 13.		
キーワード		PMID
早期軸性脊椎関節炎、放射線学的病変、横断研究		23764945
要 旨		
<p>目的： 早期軸性脊椎関節炎において、放射線学的な病変の有無によりラボ・データやMRI上の炎症などの因子が異なるかを検証する。</p> <p>方法： Devenir des Spondylarthropathies Indifférenciées Récentes (DESIR)コホートのうち炎症性背部痛を最近発症し、国際脊椎関節炎学会基準 (Assessment of SpondyloArthritis international Society criteria) を満たす患者のベースラインデータを用いた横断研究である。ベースライン調査では仙・腸骨および脊椎の放射線画像及びMRIを含む評価が行われた。修正 Stoke Ankylosing Spondylitis Spine Score に従い、明らかな仙腸関節炎を少なくともひとつ有する場合に「放射線学的病変有り」、:少なくとも一つの椎体縁にあり(グレード1)、少なくとも二つの椎体縁にあり(グレード2. 頸椎または腰椎レベル)とした。ベースライン特性と放射線学的病変の有無との関連を(ロジスティック回帰による)多変量調整オッズ比および95%信頼区間(95% CI)を用いて評価した。</p> <p>結果： 475人の患者のうち、180(37.9%)人に放射線学的病変があった。正の関連因子としては飲酒(OR 2.42; 95% CI 1.31, 4.44; P = 0.005), CRPレベル(aOR 1.44; 95% CI 1.13, 1.84; P = 0.003)、MRIでの仙腸関節炎(OR 2.25; 95% CI 1.40, 3.60; P = 0.001)があり、負の関連因子としてNSAID反応良好(OR 0.44; 95% CI 0.24, 0.81; P = 0.008)があった。一方、MRI上の椎骨炎症所見と放射線学的病変とに関連を認めたのは喫煙者のみであった(OR 1.99; 95% CI 1.01, 3.92; P = 0.048)。</p> <p>結論： 早期軸性脊椎関節炎において、飲酒、NSAID反応不良、CRP上昇、MRI上の仙腸関節炎・椎骨炎症所見は放射線学的病変とそれぞれ独立した関連を認めた。</p>		